

## 事業実績書

団体名	白石地区地域づくり協議会
-----	--------------

## 1 地域づくりの活動方針(テーマ)

みんなでつくる住みよいまち・白石

## 2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	日常的に運動に親しみ、健康と食に関心が高く、心身ともに健康な地域住民を増加させる。		
	事業名	チャレンジ健康づくり	決算額	520,834円
②	視点	明治維新に係る歴史に対する理解と関心を高め、もって郷土愛意を育み、地域の連帯感や絆を深める。		
	事業名	明治維新150年記念事業 (特別加算地域づくり交付金事業)	決算額	423,650円
③	視点	子どもからお年寄りまで家族ぐるみで参加していただき、地域住民同士の繋がりを深める。		
	事業名	ふるさとまつり参加促進事業	決算額	171,032円

## 3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①昨年度は市のモデル事業として指定を受け、市健康増進課の支援のもと事業を展開していたが、今年度は、社会体育部会と地域福祉部会との合同で事業運営を試み、安定した事業展開が図られた。 昨年度は中年層(40～60歳)対象のプログラムを実施したため中年層の参加が多かったのに対し、今年度は認知症予防などのプログラムを取り入れるなどしたため、やや高齢者向けとなった。高齢者の健康づくりに関する事業は他の団体で盛んに行われており、中年対象の事業は皆無に近い。 白石全体の地域課題としては特に中年層(40～60歳)の地域の参加が少ないことが課題となっており「すっきりボディー」「活動量計」をキーワードに中年層をターゲットとした事業展開も必要ではないかと思われる。	◎
②講演会・維新探訪バスツアー・広報誌へのコラム掲載により幕末・明治維新策源地山口市において活躍した人物、事象等を詳細に周知することができた。 また、明治維新に関心のある人の掘り起しができ、参加住民同士の連帯感や絆を醸成する一助となった。 今後については、白石地区内における明治維新の史跡マップを完成し、配布の準備をする。 講演会開催やコラム掲載については引き続き実施し(参加者の意見・質問に答える時間も設ける)、バスツアーを来年度も実施したい。	◎
③【ほたるまつり】多数の来場者に利用していただき大好評であった。参加者150人。 【祇園祭】参加者116人。 【山口七夕ちょうちんまつり】参加者193人 昨年は「ちょうちんまつり」に初参加、今年は「ほたるまつり」に初参加するなど、活動の場が広がり、本事業の3本柱ができた。 町内会方の参加者が少なく(特にちょうちんまつり:4町内会8名)協力意欲の高揚が図れなかった。今後については、町内会連合会を通じて、町内会長に協力を求めるとともに、早期(5月)に参加募集をする。 また、より多くの地域住民(とりわけ子育て世代と子どもたち)が参加していただけるような楽しい企画を検討し、実施する。	◎

## 4 総括

交付金の活用によって、地域課題の解決に向けた住民の意識が高まるなど地域づくりの協働体制が整った。  
今後についても、第2次地域づくり計画に基づいて、地域課題を解決するための手段としての事業を企画し(P)、地域住民が主体となって遂行し(D)、事業結果(効果)を検証し(S)、改善する仕組みを構築する(A)ために、地区住民同士が自由に話し合える場づくりに重点的に取り組む。

## 5 事業内容

### (1) 協議会運営

事業費	4,389,788円
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務職員:1名 (運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費 (成果・評価) 新会計管理システムを導入して会計業務の精度が向上し、業務改善が図れた。 (今後に向けて) ムダ・ムリ・ムラを無くし、効率の上がる適切かつ円滑な事務運営に努める。

### (2) 地域振興

事業名	地域づくり活動参加促進
事業費	164,044円
事業概要	(実施内容) 地域課題の解決に向けて、人的協働体制を確立した。 (実施時期) 通年 (参加人数) 延150人  (成果) 各部会の開催を定例化し、議事録等を全部会員に配布するなど、協議内容、結果の周知に努め、情報の共有化を図った。 (評価) 各会員団体間において、目標等が共有でき、地域課題の解決を図る協働態勢が整った。 部会、実行委員会(定例開催)の出席率、ボランティア参加数ともに、今年度目標を達成することができた。 出席率平均:77.8%(目標70%)、ボランティア参加数:26人(目標:15人) (今後に向けて) 地域課題解決のための方向性を地域住民が共有し、地域活動が積極的に展開されるよう、地域づくり活動に参加する地域住民、とりわけ地縁者の増加促進を図る。 地域づくりに関わる啓発研修会等への参加を促進する。

事業名	広報事業
事業費	1,225,260円
事業概要	(実施内容) 広報誌配布、公式ウェブサイト運営 (実施時期) 通年 (参加人数)10人  (成果) 広報誌配布12回、ウェブサイト更新。 (評価) 広報誌を毎月発行し、HPを適宜更新するなど、各事業の開催案内・結果報告等、周知が図れた。 (今後に向けて)次年度も、引き続き広報誌の毎月全戸配布、ホームページの適宜更新を行うとともに、SNSの活用・広報委員会創設について検討する。

事業名	第2次地域づくり計画書冊子作成
事業費	422,605円
事業概要	(実施内容) 白石地区地域づくり計画(平成28年度～平成32年度)冊子作成 (実施時期) 平成28年6月 (参加人数) 13人  (成果) 冊子作成委員会を8回開催し、検討を重ねて、5年後目標および、単年度(平成28年度)目標を設定して作成した。 (評価) 5ヵ年計画の概要はもとより、単年度の成果指標や実績値を記入する欄を設け、事業の検証・見直しが行える計画書になった。 (今後に向けて) 第3次地域づくり計画5ヵ年計画策定の参考資料として活用する。 単年度終了時に、各事業の実績値等を貼付できるようシール等で作成し、事業関係者に配布する。 第3次地域づくり計画書冊子作成は平成32年度に作成する。

事業名	「やまぐちえき」応援イベント
事業費	256,759円
事業概要	<p>(実施内容) SLの乗客や山口駅の利用者を対象に、地域住民が協力して心を込めた「おもてなし」イベントを実施。  今年度はJR山口駅の環境美化活動、市内観光ウォーキング活動、駅舎内でのコンサートの開催を新規事業として取り組んだ。  平成29年度開催「デスティネーションキャンペーン」のプレ開催を4回実施した。</p> <p>(実施時期) 平成28年6月、8月、10月、11月、12月、平成29年3月</p> <p>(参加人数) 約80～100人(1開催当り)</p> <p>(成果) 多数の地域住民の協力で盛大なイベントとなり、SLの乗客との手振りによるコミュニケーションを図ることができた。  D.Cのプレ開催をしたことで、アテンドサービスの要領がわかり、来年度実施に向けての自信に繋がった。  実行委員の「女子力」の素晴らしさを発見した。</p> <p>(評価) 地域住民同士のコミュニケーションの場となった。SL到着までの時間を利用して、駅待合室において、地域で活動している舞踊団体等が舞踊等を披露するなど、地域で活動する団体等の成果を発表する場となると同時に、山口市の玄関口であるJR山口駅を盛り上げることができた。</p> <p>(今後に向けて) 今年度新しく立ち上げた、環境美化活動、観光ボランティア、駅舎内コンサートを継続して行いたい。  来年度が本番開催となる「デスティネーションキャンペーン」では、9月・10月・11月に昭和初期レトロ衣装を着用してSLやまぐち号おもてなしイベントを8～10回程度行う。また、期間中に、駅コンサートを集中して3～4回開催し集客に繋げたい。</p>

事業名	白石地区町内親睦大運動会開催支援(プロジェクト事業)
事業費	300,000円
事業概要	<p>(実施内容) 白石小学校グラウンド</p> <p>(実施時期) 平成28年5月15日</p> <p>(参加人数) 1,500人</p> <p>(成果) 子どもからお年寄りまで多くの地区住民の参加により、地区住民の親睦及び体力づくりを推進することができた。</p> <p>(評価)  既存競技をアレンジするなどして、わかりやすく誰もが楽しめるプログラムとなるよう改善を試みた結果、昨年度を上回る参加者があり、大いに盛り上げることができた。</p> <p>(今後に向けて) 競技種目、町内対抗に参加できない地区住民の参加方法等について検討し、20町内会参加に向けて取り組む。</p>

事業名	白石フェスティバル開催支援(プロジェクト事業)
事業費	300,000円
事業概要	<p>(実施内容) 子どもからお年寄りまで多くの地区住民の参加による親睦イベントとして開催。</p> <p>(実施時期) 平成28年11月20日</p> <p>(参加人数) 約3,000人</p> <p>(成果) 子どもからお年寄りまで多くの地区住民の参加により、地区住民の親睦、白石地域交流センターで活動されている団体の紹介、及び地域団体の連携強化が図られた。 また、多くの地区住民が運営スタッフとして参加し、住民主体のイベント運営、地域活動参加のきっかけづくりとなった。中学生や大学生もスタッフとして参加され、子どもや学生が地域社会とふれあう機会となった。</p> <p>(評価) 祭りを盛り上げるための創意工夫を実行委員会を中心に話し合い、今年度は、フェスティバル開催30回記念ということで、ご当地アイドルによる記念ライブを開催するなどしたため、祭りを大いに盛り上げることができた。 また、荒高・西門前自主防災ブースを設置したことで、祭りが自治会の地道な活動を広めたり、防災意識を高める良い機会となった。 共催イベントについても、今年はyabに加え、道場門前商店街も参加していただき、西門前商店街から道場門前商店街までの人通りが増え、昨年よりも、商店街えびす祭と白石フェスティバルの一体感が生まれた。これら相乗効果が、祭りの来場者が増えた要因と思われる。 中学生ボランティアスタッフも、活躍してくれ、駐輪場整理やゴミ箱管理を担当してくれ(今後に向けて) 来年度も開催日時を西門前商店街・道場門前商店街のえびす祭りにあわせて開催(11/19)し、お互いの祭りの相乗効果が出るよう工夫して行きたい。 一部参加団体においては、活動規模が年々縮小しており、フェスティバルへの参加方法についても、見直しが必要な部分もあるため、例年通りばかりではなく、新たな取り組みも企画したい。 また、地域団体である、町内会連合会には、より積極的に参加して頂けるよう、調整したい。</p>

事業名	町内会親睦活動支援
事業費	158,941円
事業概要	<p>(実施内容) ①荒高もりさま祭り②福部童子祭③西惣小さな夏まつり④今道大附6町内フェスティバル開催。⑤ヴェルデ白石納涼夏祭り⑥下清水・中清水三世代交流会</p> <p>(実施時期) 平成28年7月、8月、9月</p> <p>(参加人数) 約1,189人</p> <p>(成果) 子どもからお年寄りまでの世代交流ができた。 今年度、中清水・下清水町内会が新たに事業に参加し、参加団体は6団体(12町内会)となった。</p> <p>(評価) 準備等を通して、町内会役員間の結束を高めることができた。 各町内会とも、多数の参加があり、目標参加者数を上回った</p> <p>(今後に向けて) 子どもとその親、お年寄り以外の若者層にも参加してもらえるよう、イベントや出店内容等、工夫したい。 周知に努めて、参加団体の増加を図るとともに、広報活動を進めて、各祭りの参加者の増加を図りたい。 祭りを継続していけるよう、継続方法を再構築する。</p>

事業名	ふるさとまつり参加促進事業
事業費	171,032円
事業概要	<p>(実施内容)  <b>【ほたるまつり】</b>今年初めて「ほたる観賞week」において、赤煉瓦前広場にお茶席(みずき会主催)と、無料休憩所を設置した。  <b>【祇園祭】</b>御神輿の参加者を対象にサラシの巻き方教室、終了後には直会を開催した。  <b>【山口七夕ちょうちんまつり】</b>一の坂川沿いにちょうちんツリー43本にちょうちん880張の飾りつけ・点灯を行った。ほたる広場周辺のちょうちんツリーには、子供たちがそれぞれの願いを短冊に書いて飾り付けた。</p> <p>(実施時期) 平成28年5月28日、7月20日・27日、8月6日・7日</p> <p>(参加人数) 459人</p> <p>(成果)  <b>【ほたるまつり】</b>多数の来場者に利用していただき大好評であった。参加者150人。  <b>【祇園祭】</b> 参加者116人。  <b>【山口七夕ちょうちんまつり】</b> 参加者193人</p> <p>(評価) 昨年は「ちょうちんまつり」に初参加、今年は「ほたるまつり」に初参加するなど、活動の場が広がり、本事業の3本柱が出来た。</p> <p>(今後に向けて) 町内会方の参加者が少なく(特にちょうちんまつり:4町内会8名)協力意欲の高揚が図れなかった。今後については、町内会連合会を通じて、町内会長に協力を求めるとともに、早期(5月)に参加募集をする。  また、より多くの地域住民(とりわけ子育て世代と子どもたち)が参加していただけるような楽しい企画を検討し、実施する。</p>

### (3) 地域福祉

事業名	人権啓発活動推進
事業費	60,000円
事業概要	<p>(実施内容) 白石中学校全校道徳・白石地区人権学習講演会開催</p> <p>(実施時期) 平成28年11月17日</p> <p>(参加人数) 450人</p> <p>(成果) 盲目のヴァイオリニスト白井崇陽氏を講師に迎え、トーク&amp;ライブ(ザ・チャレンジド)を開催した。  生徒が氏の演奏・講和に良く聞き入り、質問も活発に行われた。人権問題の啓発が図られ</p> <p>(評価) 生徒が白井氏の演奏・講和に良く聞き入り、質問も活発に行われた。人権問題の啓発が図られた。</p> <p>(今後に向けて) 講演会開催について周知不足であった。今後は、参加呼びかけ等、事前の広報活動に努めるとともに、休日(土・日)の開催を検討し、地域住民の参加増を図りたい。</p>

事業名	ノルディックウォーキング講習会
事業費	23,500円
事業概要	<p>(実施内容) ノルディックウォーキングの普及やウォーキングマップしらいしの活用を推進するため専門の講師を招きノルディックウォーキングの講習会やまち歩きを実施した。  市が展開しているチャレンジデーに地区としての協賛事業を兼ねる。</p> <p>(実施時期) 平成28年5月25日</p> <p>(参加人数) 23人</p> <p>(成果) 昨年の反省(昨年度コースはやや上級者向けの8km)を踏まえ気軽に歩ける距離(3km)とした。リピーターだけでなく、新たに参加した方もおられた。</p> <p>(評価) コースを工夫したが、参加者数は目標の人数までは増加しなかった。しかしながら、リピーターに加え、新規参加者もあり、ノルディックウォーキングの周知には貢献したと思われる。</p> <p>(今後に向けて) 町内会において体育委員等を通じて周知や募集に協力いただくなど、体育協会の組織力を十分活用させていただく必要がある。</p>

事業名	チャレンジ健康づくり
事業費	520,834円
事業概要	<p>(実施内容) 参加者に対して活動量計を貸出し、運動に関するプログラムを月一回のペースで提供。同時に活動量計のチェックを実施し、個人にあった健康的な身体活動量を自覚してもらう事業を展開する。この事業を契機に習慣的な運動をツールとした健康づくりに取り組む人が増加することを目指す。</p> <p>(実施時期) 平成28年7月～平成29年3月</p> <p>(参加人数) 47人</p> <p>(成果) 昨年度は、市のモデル事業として指定を受け、市健康推進課の支援のもと、事業を展開していたが、今年度は社会体育部会と地域福祉部会との合同で事業運営を試み、安定した事業展開が図られた。</p> <p>(評価) 今年で2年目となる本事業は、50人定員の募集ではあるが、活動量計をツールとしての本事業を通して地域住民の健康意識は年々高まりつつある。(健康づくりを通して仲間づくりが促進されている)</p> <p>(今後に向けて) 昨年度は、中年(40～60歳)対象のプログラムを実施したため中年の年齢層の参加が多かった。今年度は認知症予防などのプログラムを取り入れるなどしたため、やや高齢者向けとなった。高齢者の健康づくりに関する事業は他の団体で盛んに行われており、中年対象の事業は皆無に近い。 白石全体の地域課題としては特に中年層(40～60歳)の地域の参加が少ないことが課題となっており「すっきりボディー」「活動量計」をキーワードに中年層をターゲットとした事業展開も必要ではないかと思われる。</p>

### (3) 地域福祉

事業名	健康食のおススメ
事業費	73,519円
事業概要	<p>(実施内容) 料理教室を2回開催(男性料理教室・カルシウムクッキング教室)。減塩食レシピを広報誌へ6回掲載。「チャレンジ健康づくり」の講座参加者を対象に、健康食(3品)の紹介と試食(60食)の提供。白石フェスティバルにおいて活動の様子をパネル展示。減塩食等の研修への参加</p> <p>(実施時期) 平成28年4月、6月、9月、10月、11月、平成29年1月</p> <p>(参加人数) 42人</p> <p>(成果) 今年度は、男性料理教室の他に、子育て世代にも参加していただける、生涯骨太を目指す「カルシウムクッキング教室」を開催した。また、「チャレンジ健康づくり」の参加者を対象に、健康食(3品)の紹介と試食(60食)の提供をし、多年齢・多人数に健康食の周知を図ることができた。 今年度、初めて、プロから学ぶ減塩食や、プロを目指す学生の成果発表の場に研修として参加した。</p> <p>(評価) 料理教室開催、広報誌へのレシピ掲載により、適正な塩分量の料理や美味しくカルシウムを摂取できる料理を提案し、地区住民の健康に役立つことができた。 研修に参加し、プロの調理や、プロを目指す学生のアイデア等を目前で学習できたことは、メンバーにとって良い刺激となった。周知不足により、料理教室の参加者人数は目標数には達しなかったが、カルシウムの摂取に着目し、対象世代を広げたことから、子育て世代の参加もみられた。</p> <p>(今後に向けて) 来年度も、減塩料理だけではなく、生涯骨太を目指したカルシウムクッキングに力を入れたい。 広報誌に健康食レシピを掲載紹介し、健康に役立つ料理を提案したい。 料理教室の参加者を増加させるため、周知に努める。 また、子育て世代の方にも安心して料理教室に参加して頂けるよう、来年度は託児の設置を考えたい。 より多くの地域住民の「食」に対する意識を高めるため、「チャレンジ健康づくり実行委員会」と共同で、料理教室の開催を検討したい。</p>

事業名	グランドゴルフ大会開催事業
事業費	19,000円
事業概要	<p>(実施内容) グランドゴルフ大会を開催。</p> <p>(実施時期) 平成28年6月26日(日)、10月10日(祝)</p> <p>(参加人数) 延べ45人(6月20人、10月25人)</p> <p>(成果) 今年度は開催時期を過ぎしやすい6月と10月に開催。 また、場所を亀山公園ふれあい広場で初開催。 準備、運営はグラウンドゴルフ協会の白石担当の方が中心となって実施。</p> <p>(評価) 2回の大会を通じて、初心者の方も広報誌を見て参加されるなど、わずかではあるが、グラウンドゴルフに対する機運が高まりつつある。</p> <p>(今後に向けて) グラウンドゴルフを、地区の推奨するスポーツとして、地域をあげて機運の醸成を図る必要がある。例えば、グラウンドゴルフ愛好者が、気軽に定期的にグラウンドゴルフを楽しめる、クラブ・サークルなどの組織づくりを模索し、受け皿組織などの支援を試みるなど。</p>

#### (4)安全・安心

事業名	危険防止看板設置
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容) —</p> <p>(実施時期) —</p> <p>(参加人数) —</p> <p>(成果) —</p> <p>(評価) —</p> <p>(今後に向けて) 子どもの交通事故等の危険箇所注意を呼び掛ける看板やステッカーなどの表示設置が不十分な箇所があるため充実していきたい。</p>

事業名	反射鏡設置等事業
事業費	50,000円
事業概要	<p>(実施内容) 西惣太夫町内会にアドバイスマラーを1基設置した。</p> <p>(実施時期) 平成28年8月</p> <p>(参加人数) —</p> <p>(成果) 西惣太夫町内会会長の依頼により反射鏡の設置を補助した。</p> <p>(評価) 見通しの悪い交差点にアドバイスマラーが設置されたことにより、地区内の児童・生徒をはじめとする住民の交通安全を守ることに貢献できた。</p> <p>(今後に向けて) 地域内の交通安全を守るために、次年度以降も危険個所に反射鏡等の設置をして行く。</p>

事業名	自主防災モデル事業
事業費	205,744円
事業概要	<p>(実施内容) 自主防災勉強会等開催。 中讃井、荒高町内会、西門前・新橋町内会が合同で発災実働訓練を実施。 山口県自主防災アドバイザー養成研修を受講、資格試験受験、防災士資格取得。</p> <p>(実施時期) 平成28年9月～平成29年1月</p> <p>(参加人数) 発災実働訓練参加者 約370世帯</p> <p>(成果) 今年度新たに6名が防災士資格取得者となり、白石地区の防災士資格取得者は13名となった。 平成29年1月22日(日)に、中讃井、荒高、西門前、新橋、荒高町内会で合同の発災実働訓練を行ったことで、防災意識がさらに高まり災害への備えとなった。この発災実働訓練には、たいへん多くの地区住民(370世帯)が参加された。安否確認のための目印として、「黄色のタスキ(旗)」を全戸に配布したことにより、住民同士の連帯感が深まり、今後の防災活動に役立つと思われる。</p> <p>(評価) 防災訓練を行う中で住民同士の連帯感が生まれた。</p> <p>(今後に向けて) 自主防災組織を立ち上げた、中讃井、西門前・新橋、荒高町内会をモデルケースとして、来年度は、東糸米、西糸米町内会、他町内会と共に防災モデル事業に取り組むために事例紹介を行いたい。</p>

事業名	夏休み防災訓練キャンプ
事業費	59,437円
事業概要	<p>(実施内容) 消防分団が講師となつての水消火器による消火訓練。着衣水泳体験(赤十字山口県支部講師による指導)。体育館での宿泊体験(寝床づくり、ラジオ体操、負傷者救出訓練など)。給水車による給水(上下水道局)</p> <p>(実施時期) 平成28年8月</p> <p>(参加人数) 19名(児童数)</p> <p>(成果) 3年目ということもあり、全般的に問題なくできた。</p> <p>(評価) 熊本の震災の内容を子供たちに詳しく伝えるなどの防災に関する学習がいつもより充実していた。 スポーツ少年団の大会などと日程が重なり、参加者が少なくなった。</p> <p>(今後に向けて) 防災に関する学習内容をさらに深くしていきたい。 人数が少なすぎると判断した時は、再度周知を早めにかける。</p>

事業名	安全パトロール事業
事業費	15,438円
事業概要	<p>(実施内容) 児童の登下校の安全見守り、挨拶運動 ボランティアへの児童の下校時刻予定表や情報、連絡網等の送付</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 31人</p> <p>(成果) 学校とボランティアの方との連携は郵送等によるお知らせでできていた。 児童の安全確保ができた。</p> <p>(評価) 事件事故の被害はなかった。</p> <p>(今後に向けて) 募集回数を増やし、ボランティア人数を増加させたい。活動内容の明確な周知、誰でも気軽に参加できるような内容に変える等改善が必要と思われる。 支出項目に事業費を追加し、タスキや旗を購入したい。</p>



(5)環境づくり

事業名	土木工事(法定外公共物等整備事業)
事業費	270,000円
事業概要	(実施内容) 法定外公共物等の整備。 (実施時期) 平成28年8～12月 (参加人数) 1町内会 (成果) 竜王町町内会からの要望により、踏切接続道路敷地内の路肩改修工事(自転車等転落防止のためのガードパイプ工事)を行った。 (評価) 同上 (今後に向けて) 次年度より、この事業は市へ返還することとする。

事業名	五十鈴川を守る会
事業費	118,306円
事業概要	(実施内容) 五十鈴川河川の美化作業(草刈等) 河川長 約1,000m (実施時期) 平成28年9月4日(日) (参加人数) 130名 (成果) 事前の準備が周到でタイムスケジュールはほぼ予定通り実施された。参加者同士の交流も図れた。 (評価) 初回の参加人員としては十分であった。 作業時間が多少オーバーしたが、河川に繁茂していた雑草が一掃され、景観が美化された。 女性の参加者が多く、グループ内での男性の負担が大きかったところもあった。 また、グループ毎に作業終了時間が違ったため、応援体制が十分でなかった。 草刈機や清掃用具に多少不足を生じた。 (今後に向けて) 西白石、上清水町内会の参加をお願いする。同時に附属小学校も含め、実行委員会を13名とする。 作業時間は7時から9時として、後始末を含め10時には終了するようにしたい。(応援体制を整える) 人員配置、作業区分(刈り込み、集積、積み上げ、集積移動、清掃)の担当区分表を作成する。 清掃範囲、五十鈴川上流200mの作業範囲の延長。 草刈機を含めた作業機材を団体毎に掌握し一覧表を作成する。

(6)地域個性創出

事業名	お宝写真展
事業費	59,400円
事業概要	(実施内容) 白石の自慢できる風景の写真を募集し、大いちょうバザール・白石フェスティバルにて写真展を開催した。 (実施時期) 平成28年6月～11月 (参加人数) 20人 (成果) 今年度は、地域の方の参加に加えて、初めて、中学校からの参加や、新入生保護者からの参加もあり、広い範囲から出品された。 (評価) 出品者が昨年より広範囲に亘った。例年通り地域の方からも参加があり、恒例行事となってきた感がある。展示場所については、大いちょうバザール、白石フェスティバルともに、昨年より人目に触れる場所に掲げられており好評であった。作品数は若干少なかった。 (今後に向けて) 今年以上に早い写真展の開催周知及び積極的な出品協力依頼を各団体に行う。

事業名	明治維新150周年記念事業
事業費	423,650円
事業概要	<p>(実施内容) 講演会・バスツアー開催、広報誌およびHPにコラム掲載。</p> <p>(実施時期) 平成28年4月～平成29年3月</p> <p>(参加人数) 55.5人(平均参加者数)</p> <p>(成果) 講演会・バスツアー・広報誌へのコラム掲載により梶木・明治維新の山口市で行動・活躍した人物を詳しく知ることができた。</p> <p>平成26年度に事業を開始してから今年度末までで講演の参加登録者数は254名となった。</p> <p>(評価) 講演会・バスツアー共に好評であった。</p> <p>今後も、明治維新に関わった人物や場所を発掘し、山口市、白石地区民に理解していただく必要性を感じる。</p> <p>(今後に向けて) 講演会開催やコラム掲載については引き続き実施し(参加者の意見・質問に答える時間も設ける)、バスツアーも来年度も実施したい。</p> <p>白石地区内における明治維新の史跡マップを完成し、配布の準備をする。</p> <p>次年度が区切りの5年目となる。</p>

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。